

2026年度 高柳健次郎賞・高柳健次郎業績賞 候補者推薦募集のご案内

ごあいさつ

平素は、本法人への格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。
本法人は、電子科学技術に関する独創的な研究開発に対し研究助成を行い、優れた研究業績者を表彰することにより、わが国の科学技術の振興に寄与し、豊かな社会の創造に貢献することを目的としています。
その目的を達成する事業の一つとして、高柳健次郎賞の表彰を行っています。電子科学技術に関する優れた研究により、わが国のこの分野の振興並びに産業の発展に貢献された方々の功績に報い、電子科学技術の更なる発展と その啓蒙に寄与することを目的とした賞です。



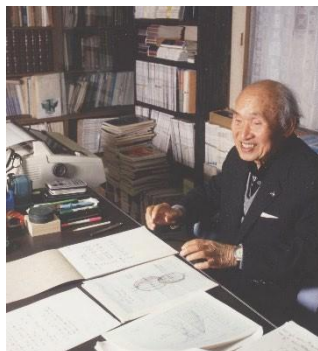
理事長 末松安晴

ここに別紙のとおり、2026年度の募集要項のご案内をさせていただきます。
相応しい方のご推薦を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

* 歴代受賞歴等の詳細は、ホームページ(URL <https://takayanagi.or.jp>) を参照願います*

“テレビの父”高柳健次郎と高柳健次郎財団

2026年 電子表示100周年



高柳健次郎は1926年、独自に開発した受像用ブラウン管に「イ」の字の受像に成功し、1939年にはNHKで実験放送開始に至った。この業績は後にIEEEマイルストーンに認定される。戦後はテレビジョン同好会（現在の映像情報メディア学会）を創設するなどしてテレビジョンの実用化と発展に努めると共に、VTRの基本技術を発明するなど今日ある映像文化の基盤をつくり、産業界の発展に貢献した。これらの功績により1981年に文化勲章を受章した。

その榮譽に対して「決して私一人の力で成しえたことではありません」と謙虚に述べ、「初期の研究過程に於いて、研究費が不足して困ったときに助けられた有難さを今も忘れることがない」と感謝している。そして「これまでの多くの方々より受けたご恩に報い、併せてわが国の電子科学技術の振興に些かなりとも寄与したい」と念願して、私財を基に1984年に財団を設立した。



公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ一番町309

TEL 03-3239-1207 FAX 03-3262-3028

E-mail tkinenz@oak.ocn.ne.jp

URL <https://takayanagi.or.jp>



2026年度 高柳健次郎賞・高柳健次郎業績賞 候補者推薦募集要項

電子科学技術に関する優れた研究により、わが国のこの分野の振興並びに産業の発展に貢献された方々の功績に報い、電子科学技術の更なる発展とその啓蒙に寄与することを目的とした賞です。

1. 表彰対象

(1) 高柳健次郎賞

次の条件を満たし、人格的にも優れたわが国を代表する指導的立場の人。

- ・ 電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で、独創的かつ特に優れた成果のあった人
- ・ 同分野で、技術や産業の発展、研究者の人材育成などに多大な貢献をした人

(2) 高柳健次郎業績賞

電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で将来性ある研究成果をあげ、技術の発展や産業に貢献した人で、次世代を担うに相応しい人。年齢は概ね50歳以下とする。

2. 表彰内容

- | | | |
|--------------|----|-----------------------|
| (1) 高柳健次郎賞 | 1件 | 表彰盾並びに記念の金メダルを贈呈 |
| (2) 高柳健次郎業績賞 | 2件 | 表彰盾並びに副賞として賞金各50万円を贈呈 |

3. 推薦応募方法

- ・ 所定の推薦書に必要事項をご記入の上、Eメールにて事務局宛てにお送りください。尚、推薦書用紙フォーマットは、[こちらからダウンロード願います。](#)
- ・ 推薦は、対象者が所属または関連する企業・団体等の責任者によるものとし、故人及び自己推薦等は受け付けていません。
- ・ ご提出の候補者推薦書は返却いたしません。

4. 募集期間

2026年2月10日～2026年4月10日 期限まで必着をお願いします。

5. 選考方法及び表彰

- (1) 選考は、選考委員会規則及び高柳健次郎賞選考規程に基づき公正に実施します。
- (2) 選考結果の発表は、理事会決議を経て、11月に推薦者あてに郵送いたします。
- (3) 贈呈式は、2027年1月20日(水)会場 アルカディア市ヶ谷で開催いたします。

6. 問い合わせ先 公益財団法人 高柳健次郎財団 事務局

電話 03-3239-1207 Eメール tkinenz@oak.ocn.ne.jp URL <https://takayanagi.or.jp>